

茨木市議会議員(無所属)



あびこ浩子

ゆめ・みらい通信

連絡先：(自宅) 茨木市穂積台1 2-503穂積台グランドコーポ

Facebook：あびこ浩子 | WEBサイト：<http://www.hiroko-abiko.jp>



民生常任委員会視察に行ってきました。

(1日目 足立区の子どもの貧困対策)

みなさま、いつもお世話になっております。あびこ浩子です。

5月中旬になり、急に日差しが強くなり、夏日になる日もあります。光化学スモッグ注意報が出て、帽子や日傘など対策が必要です。熱中症も心配になります。皆様、どうぞお気を付けてください。

5月17日(水)から18日(木)の1泊2日で、民生常任委員会の行政視察に行っていました。6月議会までのこの時期に、4つの常任委員会(総務常任委員会・建設常任委員会・文教常任委員会・民生常任委員会の4つ。全議員がどこかの委員会に所属しています。)の行政視察が行われます。

1日目は東京都足立区にて「子どもの貧困対策」についての視察いたしました。東京都足立区は子どもの貧困について、担当部長がいらっしゃいます。どのような対策が必要かを知るためには、まずは『実態調査』が必要だとして、子どもの貧困実態調査をされています。その調査内容には子どもの状況を把握する視点として、小学校での歯科検査のあと、虫歯治療に行っていない家庭を調査する項目があります。足立区では子どもたちの医療費は無料です。歯科治療も無料で受けられるにもかかわらず、治療をしていない子どもがいます。その家庭では子どもをケアする状況にないのではないかと疑われます。子どもは自分で「我が家は貧困家庭だ」とは言いません。どのような様子から把握し、支援を届けるのか、そこが一番のポイントになります。課題がどこにあるのか、誰に届けたらよいのか、その為の調査です。本市では子どもの貧困実態を把握するための調査はされていません。昨年から要望していますがまだ実現していません。教育委員会が学力調査と同時に生活アンケートをしています。その項目の中に、足立区のアンケートを参考に設問を増やしたと聞いています。まずはその結果をもとに本市での対策に取り組みます。(2日目は次回に)

土浦市役所(駅前イトーヨーカドー跡入居)



【あびこ浩子プロフィール】

- ◆玉櫛小・南中卒業／1980大阪府立千里高校卒業／1984関西大学文学部卒業／2008大阪市立大学大学院創造都市研究科共生社会研究分野修士課程修了／大学時代銭原キャンプ場でカウンセラーとして活動
- ◆1984高槻市立第7中学校教諭／1987茨木市立三島中学校へ転任1990退職／2000沢池幼稚園PTA会長／2002穂積小PTA会長／2006茨木市PTA協議会会長／2004NPO法人Chacha-House代表理事／2006穂積小校区青少年健全育成運動協議会会長／2006NPO法人子育て広場全国連絡協議会理事／2011穂積地区自主防災会会長／2012穂積地区福祉委員会副委員長
- ◆2008・4茨木市議会議員補欠選挙で初当選／2009・1選挙2期目当選／2013・1選挙3期目当選／2017・1選挙4期目当選
- ◆夫、長女、長男、次女夫婦と孫娘

あびこ浩子連絡先

電話・FAX 072(624)5480(留守時はメッセージを残してください)

Email: abiko-h@hcn.zaq.ne.jp

【自宅】茨木市穂積台12-503穂積台グランドコーポ

HP: <http://www.hiroko-abiko.jp>

FACEBOOKページ

「あびこ浩子(茨木市議会議員)」

「あびこ浩子 茨木ゆめ・みらい工房」

Twitter @abiko_h(あびこ浩子(茨木市議会議員))



お互いさまと思える茨木に！
生活者の視点を政治に！



鳥取県立図書館の視察に参加しました。

5月12日(金)に鳥取県立図書館の視察に参加いたしました。私は長年公共図書館を身近な場所に広げ、読書機会を増やし、子どもに本を届ける活動に参加してきました。私自身が子どもの頃から図書館が大好きで、一日図書館で過ごせたらどんなにいいかなと考えているような子どもでした。

茨木市には蔵書やレファレンスサービスなどが充実した全国に誇れる公共図書館があります。市も図書館行政に力を入れていただいています。図書館が充実しているからと茨木市に引っ越してきてくださる方もいらっしゃると思います。できることならもっと多くの市民の方に図書館を利用していただきたいと思っています。

図書館は無料で本が借りられます。公共図書館は図書館法という法律で無料でみなさん資料提供すると定められています。【第17条(入館料等)「公立図書館は、入館料その他図書館資料の利用に対するいかなる対価をも徴収してはならない。】本を借りるだけでなく、図書館は様々な調べものに対応してくれます。図書館の命ともいえる機能はレファレンスサービスです。利用者が調べたいことを、レファレンスカウンターで相談すると司書が調べてくれます。あるいは調べられる資料を探してくれます。他の図書館に所蔵されていることが分かれば取り寄せもできます。専門的な資料になると大学図書館や専門図書館に依頼をかけることもできます。近くに実物の資料がない場合は、国立国会図書館にはすべての本が所蔵されていますので、そちらに資料の貸し出しやコピーを依頼することもできます。身近なまちの図書館から、あちこちに依頼をかけて資料を探すことができます。病気や介護、相続、離

鳥取県立図書館にて



婚などの知識を得るための資料を集められます。

今回、鳥取県立図書館では、図書館が身近な相談機関として様々な相談の資料を取り揃えている状況を見せていただきました。例えば「仕事を探す」「起業する」場合「山陰地方で起業するにはどのようなニーズがあるのかをデータで調べ、仕事に活かす」仕組みがありました。データベース情報は山陰地方版だけでも50万円以上もするそうですがそれを個人で購入することは難しいですが、公共図書館が所蔵し、それを市民が活用することは可能です。その時に一緒に企業をサポートする専門家がそばに居たり、あるいは図書館自身が起業相談に出かけていき、データベースから情報を提供するアウトリーチもされています。一人でも多くの方に活用いただくために様々な工夫がされていました。「アウトリーチのサービス提供」

市制報告会、7回終了しました。

ご参加いただいた皆様ありがとうございました。いただきましたご意見を今後にいましてまいります。次回、10月～11月開催予定です。ご参加ください。

毎週火曜日・木曜日の朝、JR茨木駅西口下、水曜日の朝、南茨木駅、金曜日の朝、阪急茨木駅東口南側にてご挨拶と週刊通信を配布させていただいています。お急ぎとは思いますが、お時間許せば手に取っていただけましたら幸いです。お声をかけていただけたらとても嬉しいです！

